

2024 年度 学生評価委員会報告書

2025 年 3 月 1 日 学生評価委員会

目次

- 学生評価委員会編成の経緯
- 2024 年度学生評価委員会の開催
- 2024 年度の活動概要

2024 年度第 1 回学生評価委員会 開催報告

2024 年度第 2 回学生評価委員会 開催報告

2024年度 学生評価委員会 報告書

1. 学生評価委員会編成の経緯

共立女子大学・共立女子短期大学では、大学・短期大学の諸活動を点検・評価する中で在学生からも広く意見等を募り、将来へ向けて改善していくことを目的として、大学・短期大学自己点検・評価規程に従い大学・短期大学自己点検・評価実施委員会のもとに、2024年4月1日付で「学生評価委員会」を編成した。

委員の選出にあたっては各学部・学科・科から2名ずつの推薦を受け、合計20名が学長より委員として委嘱された。

2. 2024年度学生評価委員会の開催

・第1回学生評価委員会

開催日時:2024年7月29日(月)17:00~18:30

テーマ :学修環境について~学びの場としてのより良い環境について~

開催形態:対面グループワーク形式

(資料4-1 2024年度第1回学生評価委員会 開催報告)

・第2回学生評価委員会

開催日時:2025年1月31日(金)17:00~18:30

テーマ :「リーダーシップの共立」の取組みについて

開催形態:対面グループワーク形式

(資料4-2 2024年度第2回学生評価委員会 開催報告)

3. 2024年度の活動概要

第1回目の活動では、主体的に学ぶ場としてのキャンパス(学修環境)のあり方について、アンケートでの意見収集やグループワークでの討議を行った。委員からは、学生個々の状況に応じた学修環境が用意されていることや、学生間のコミュニケーションが容易な環境が整備されていることが高く評価された。一方で、改善点としては、こうした学修環境のさらなる充実や、利用可能な施設や学修サービスの周知方法の改善、空調環境の改善、椅子のクッション性の改善などが挙げられた。

第2回目の活動では、昨年度に引き続き「リーダーシップの共立」の取組みをテーマとし、アンケートやグループワークを通じて学生からの意見や提案を集めた。学生の意見からは、「共立リーダーシップ」の理念が学生に広く浸透しており、大学全体でリーダーシップ教育が進展していることがうかがえた。課題としては、学部・科の教育内容・方法の特色に応じた「共立リーダーシップ」の育成の適切な実施、専門教育科目における実践機会の充実、授業内外での学部等の枠を超えた活動の充実、リーダーシップに関する自己評価の機会の充実などが挙げられた。

両活動により得られた学生からの積極的なフィードバック・改善提案に基づき、高等教育開発センター及びリーダーシップ教育センターにおいて具体的な施策の検討を進めていく。

以上

2024年度第1回学生評価委員会 開催報告

1. 開催概要

日時: 2024年7月29日(月)17:00~18:40

テーマ: 「学修環境について」～学びの場としてのより良い環境について～

開催形態: 対面グループワーク形式

目的: キャンパスをより良いものとするために、授業を受ける環境、授業外の学びの環境、大学生活の環境の側面から、現状の長所と改善が必要な点について明らかにする。

(評価の対象)

- ・主体的に学ぶ場としての学修環境(授業を受ける環境、授業外の学びの環境、大学生活の環境)

(評価の観点と活用方法)

観点	評価された内容の活用方法
目的・ねらいに対して、学生はどのように実感しているか。	現状把握
有効な活用方法・事例の収集	他学生への共有、改善活動
不満・要望はあるか。	改善活動

2. プログラム:

当日出席者: 18/20名(出席率90%)

事前アンケート回答者: 20/20名(回答率100%)

事後アンケート回答者: 20/20名(回答率100%)

事前活動

1)【事前動画視聴】

- ・前年度までの活動内容(本委員会の目的の理解)

2)【事前アンケート】

- ・キャンパスの学修環境について(授業、授業外、大学生活)

当日の活動

1)開会の挨拶(副学長)

「学生評価委員会」の意義(前年度活動の外部評価委員評価コメントの共有)

「学生評価委員会」の役割、位置づけ

2)本日の活動の目的と流れ説明

3)グループ意見交換(兼アイスブレイク)「学びの場としてのキャンパスに関して考えていること」

4)説明

「学修環境」の整備方針・整備状況

5)グループワーク【協議】「学修環境～学びの場～」をよりよいものにするために」

7)グループごとに出た意見を発表

8)閉会の言葉(副学長)

大学・短大側からのフィードバック

事後活動

- 1)【事後アンケートの回答】
- 2)【kyonetマイステップの登録】

3. 学生評価の総括:

今回は「『学修環境について』～学びの場としてのより良い環境について～」のテーマで学生評価委員会を開催した。

事前アンケート、対面での委員会活動、事後アンケートによる学生評価の結果、学生からは個々の状況にあった学修環境が用意されていることや、学生間でのコミュニケーションがとりやすい環境が整備されていることが高く評価された。その一方で、学修サービスの認知度が低いことや、通信環境、空調環境に関する課題も指摘された。

事前アンケートの結果から、キャンパス内で過ごす場所として本館や4号館各階のラウンジ、図書館(2号館)をよく利用していることが分かった。理由としては、学修に集中できる環境が整っていること、授業を行う教室へのアクセスが良いこと、友人とのコミュニケーションが取りやすいことが挙げられた。

当日のグループ活動では、2号館はグループワークに適しており、個人学修にも理想的であるという意見が多く寄せられた。また、施設全体としては、インターネットの不安定さや、空調環境の改善、利用可能な学修サービスの周知方法を分かりやすくする必要があるという意見があった。

事後アンケートの結果から「本学の教室(実験室/演習室などを含む)環境について」、「本学の授業時間外の学修環境について」、「本学での学修以外の大学生活の環境について」という問いに対して20名中8割の16名がとても満足している/満足していると回答した。理由としては、ニーズに合ったスペースがあるところ、気分に合わせて学修環境を選べるため学生の主体的な学びを促進している環境であるなどが挙げられた。改善点としてはラウンジの数や空調、学修施設の周知の方法、椅子のクッション性などが指摘された。一方で「kyoritsuマイパソコンを活用する環境について」という問いに対しては満足していると回答した人数は20名中12人であり、4割の8名が満足していないと回答した。満足していないと評価した理由としてはインターネットへの接続で困ったという記述が複数あった。

その他、学生評価委員会の運営に関する意見・感想については、利用している施設が異なる他学部学科の学生とディスカッションを行うことで、自分が知らない共立の魅力や改善点を知る機会となった、学修内容により望む環境が違う他学部の学生と話し合えて多くの気づきが得られたなどの意見があった。

4. 事前アンケート結果の概要:

総回答件数: 20件/20人

アンケート結果:

※自由記述詳細は[別紙1「2024年度第1回学生評価委員会 アンケート結果」](#)を参照

【設問1】受講する時に快適な教室(演習室/実験室などを含む)、または好きな教室(演習室/実験室などを含む)があったら教えてください。

自由記述のため別紙

【設問2】設問1の回答理由を教えてください。

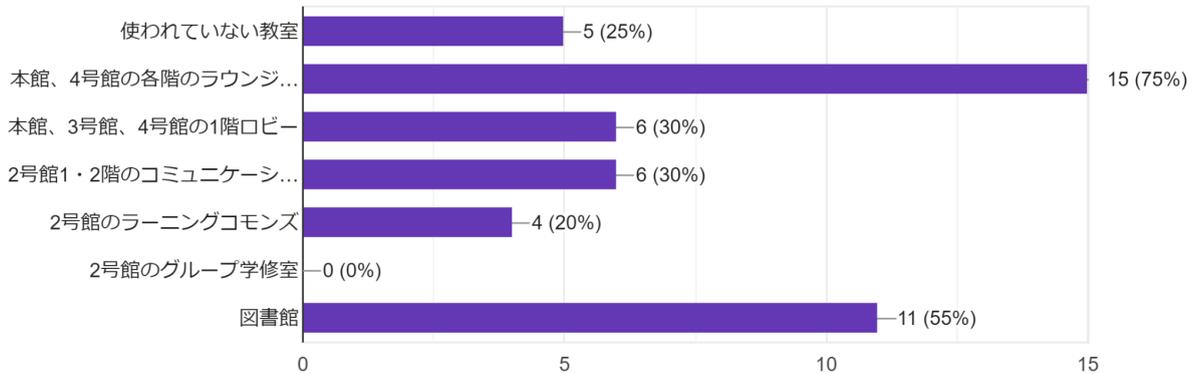
自由記述のため別紙

【設問3】授業中に環境や設備で快適でなかった経験、困った経験があったら教えてください。

自由記述のため別紙

【設問4】授業時間外でキャンパスのどのような場所で勉強していますか？利用する場所を以下から選んでください。

【設問4】 授業時間外でキャンパスのどのような場...すか？利用する場所を以下から選んでください。
20件の回答



【設問5】設問4で選んだ場所のうち、よく利用する場所、気に入っている場所とその理由を教えてください。

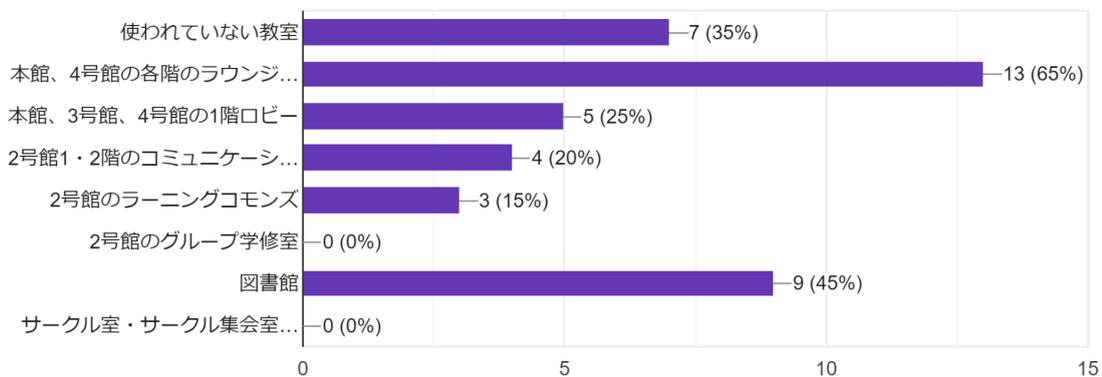
自由記述のため別紙

【設問6】キャンパスで授業や勉強以外で何をしていることが多いですか？

自由記述のため別紙

【設問7】空き時間など授業や勉強以外に多くの時間を過ごす場所がありますか？以下から選んでください。

【設問7】 空き時間など授業や勉強以外に多くの時...す場所がありますか？以下から選んでください。
20件の回答



【設問8】キャンパスで気に入っている場所、好きな場所とその理由を教えてください。

自由記述のため別紙

5.当日委員会活動の概要:

開会の挨拶で学生評価委員会の意義、役割を確認し、事前にアンケートを実施した「学びの場としてのキャンパスに関して考えていること」についてグループワークを行った。大学・短大側(高等教育開発センター)から「学修環境」の整備方針・整備状況の説明があり、その後に「『学修環境』としてキャンパスをよりよいものにするために」についてグループワークを行った。グループごとにまとめた具体的な改善策や提案について発表があり、大学・短大側からフィードバックを行った。

グループワークでまとめた意見の発表の内容は次のとおりであった。

グループ1

- ・2号館は机が固定ではないため自分でレイアウトを変更でき、グループワークに取り組みやすい。
- ・実習を行う教室にモニターがついており学ぶ環境が整っている。
- ・他の大学に比べキャンパス内のスペースに机や椅子が多くあり、自分の気分ややりたいことに合わせて活動の環境が選べるのは良い。
- ・木製の椅子は腰が痛くなる。特に3号館の教室はクッションが入ってはいるところがあるがスポンジに似た素材でクッション性がない。
→柔らかく、クッション性があるものに変更すると良いのではないかな。
- ・季節によって空調が入れられない時期がある。
- ・全館一括管理なので教室によって暑すぎたり寒すぎたりで授業に集中できない。
- ・3号館の階段の教室は上の方の席に座ると授業の後半は空気が薄くなり呼吸がしにくい。
→上部と下部で差が出ないようにする。
具体的には換気の工夫、サーキュレーターを導入、二酸化炭素の量の計測を行う。
- ・グループワークするには2号館の設備は良いが、良い設備が2号館と4号館に偏っている。
- ・本館と3号館には1人で集中できる環境がなく、グループワーク用の場所もない。
- ・3号館はグループワーク用に設定されている机や教室がない。
- ・1人で集中できる教室も少ない。実習先に電話できるような静かなスペースもない。
→本館や3号館にも防音設備や1人になれるスペースを設けると良いのではないかな。
- ・2号館の教室の事前予約は当日だと予約が埋まっている。特にサークルで埋まっている。
→サークルと学修目的といったように用途で予約できる教室を分けてほしい。

グループ2

- ・本館地下1階(B101)はモニターがありどこに座っても目が悪い学生でも見やすい。
- ・本館305はプロジェクターが3つあり発表する際に便利。
- ・本館の机が固定されている教室でのグループワークがやりにくい。
→教室調整の段階でグループワークをする授業では机が動かせる教室に配当する。
- ・3号館の5階にはモニターがないため、資料が見にくい。
→教室確定後、教員に教室の特徴を伝え、教室の特徴を踏まえた授業方法にしてほしい。
- ・3号館のとある教室は教室が広いので挙手をしての発言がしにくい。
→クリッカーを活用してはどうか。
- ・3号館は暑いので空調を調整してほしい。
- ・オンデマンド授業は空きコマで場所を問わずどこでも受講できる。しかし長時間の受講の際はイヤホンの貸し出しがあると良いのではないかな。

- ・プリンタが少ない。
- ・20枚以上をとめることがあるため業務用ステープラをプリンタ近くに置いてほしい。
- ・本館6階の吹き抜けではないエリアは暗いので集中できない。
→照明で明るく見えるよう工夫してほしい。
- ・3号館はグループワークの場所が少なく、またグループワークできる1階ラウンジは冬場寒い。
- ・2号館のグループ学修室は事前予約が必要なので使いにくい。
→当日予約はkyonetからではなく紙で直接予約させてほしい。

グループ3

- ・受講人数と教室の大きさが合っていない。
→受講人数に合わせて教室を変更してはどうか。
- ・2号館の本館の地下1階のように後ろにモニターが付いている教室はスライドは見えるが後ろの方は音が聞こえにくい。
→スピーカーを設置してほしい。
- ・クーラーは大きい教室では効きが悪く、狭い教室では効きすぎる。
→一括管理ではなく、各教室でクーラーを調節させてほしい。
- ・本館10階の演習室は広い机で使いやすい。しかし、換気が十分ではなく、有機溶剤を授業で扱う際にしばしば酔ってしまう。
→換気できるようにしてほしい。
- ・専門的なことができる演習室は使いやすいが、機材の数が少ない。混んでくると機材が足りず使えないため不便。
- ・本館の上の階層はネットワークがよく切れる。
- ・2号館と4号館は設備が整っており、事前予約できる場所も多く、グループワークや個人学修に活かせる。しかし、部屋によって予約できる用途が限られており、それを予約ページの最後の方をみて初めて知る。
→予約前に確認できるようにHP等で利用説明を詳しくしてほしい。
- ・4号館の施設は本館で主に授業を受けている学生にはまだ知られていないことが多い。
→HP等で利用説明をしてほしい。
- ・オンデマンドは人がいない場所の方が集中できるため、空き教室で行っている学生が周りにも多い。
- ・本館の上層階はインターネットがつながらなくなることが多く、オンデマンド授業を受ける際に不便なので改善してほしい。
- ・各フロアのラウンジは四角い机の方が作業しやすいので四角にしてほしい。

グループ4

- ・4号館に新しい学修施設ができた。
- ・2号館学修スペースが多く、学修環境が整っている点が良い。
- ・本館はPC室や504(製図演習室)は静かに勉強したい人や空きコマで話したい人それぞれのニーズにあった教室がある。
- ・4号館や2号館など新しい施設があることを知らない学生が委員の中にもいる。良い施設設備があるのに知られていないのはもったいない。
→周知する方法を工夫したら良いのではないか。
- ・号館によって施設のレベルに差がある。
- ・本館と2号館は充実しているが3号館は充実していない。
- ・3号館や本館は情報通信設備が良くない。授業中にインターネットがつながらなくなったり、プロジェクターがつながらなくなったりするのは改善してほしい。
- ・証明書発行機の電子決裁方法を改善してほしい。(現金決裁ができない)

- ・以前は3号館にも証明書発行機があったが、なくなってしまった。3号館は看護学部も児童学科も実習で使用頻度が高いにも関わらず本館まで足を運ぶ必要があるのが不便である。また、使用できる支払い方法がPayPayと交通系ICのみで現金が使えない。3号館に証明書を出せる機械がほしい。
- ・本館のエレベーターが止まらない階があることが不便。
- ・2号館が理想的な環境なので上記のような悪い部分が改善されるとより良い環境になるのではないか。

6.事後アンケート結果の概要:

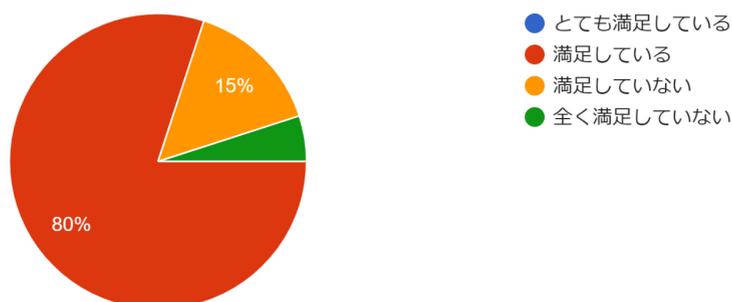
総回答件数:20件/20人

アンケート結果:

※自由記述詳細は別紙1「[2024年度第1回学生評価委員会 アンケート結果](#)」を参照

【設問1】本学の教室(実験室/演習室などを含む)環境について

【設問1】 本学の教室（実験室/演習室などを含む）環境について
20件の回答

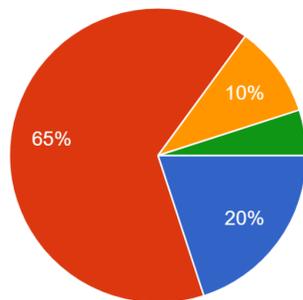


【設問2】そのように評価した理由を教えてください
自由記述のため別紙

【設問3】改善が望まれることがあれば教えてください
自由記述のため別紙

【設問4】本学の授業時間外の学修環境について

【設問4】 本学の授業時間外の学修環境について
20件の回答



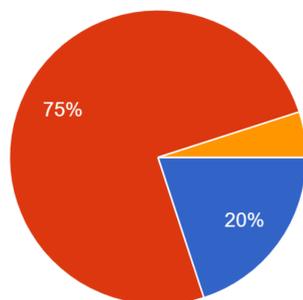
- とても満足している
- 満足している
- 満足していない
- 全く満足していない

【設問5】 そのように評価した理由を教えてください
自由記述のため別紙

【設問6】 改善が望まれることがあれば教えてください
自由記述のため別紙

【設問7】 本学での学修以外の大学生活の環境について

【設問7】 本学での学修以外の大学生活の環境について
20件の回答



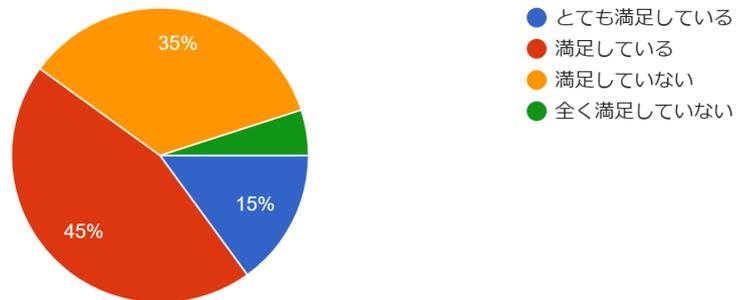
- とても満足している
- 満足している
- 満足していない
- 全く満足していない

【設問8】 そのように評価した理由を教えてください
自由記述のため別紙

【設問9】 改善が望まれることがあれば教えてください
自由記述のため別紙

【設問10】 kyoritsuマイパソコンを活用する環境について

【設問10】kyoritsuマイパソコンを活用する環境について
20件の回答



【設問11】そのように評価した理由を教えてください
自由記述のため別紙

【設問12】改善が望まれることがあれば教えてください
自由記述のため別紙

【設問13】本学のキャンパスについてその他の意見やコメント、要望などがあれば教えてください。
自由記述のため別紙

【設問14】学生評価委員会について感想やコメント、要望などがあれば教えてください
自由記述のため別紙

以上

2024年度第1回学生評価委員会 アンケート結果

1. 事前アンケートの詳細

対象：学生評価委員全員（20名）

回答期間：7月16日（火）～7月25日（木）

回答率：100%（20/20名）

【設問1】受講する時に快適な教室（演習室/実験室などを含む）、または好きな教室（演習室/実験室などを含む）があったら教えてください。

No	【設問1】受講する時に快適な教室（演習室/実験室などを含む）、または好きな教室（演習室/実験室などを含む）があったら教えてください。
1	2号館の小さい方の教室。
2	2号館8階教室
3	KCS-1演習室1002
4	本館501
5	2号館の講義室全て
6	椅子と机が固定されていない教室
7	13階の柔らかい椅子。
8	本館12階13階の情報処理演習室
9	特になし
10	2号館の教室
11	机にコンセントが設置されている教室
12	本館206
13	2号館、本館の教室
14	6～8階の実験室や実習室は比較的温度が一定で過ごしやすと感じています。
15	①本館4階売店近くの教室②5階の奥の講義室
16	2号館のコンセントがある教室
17	本館 DCS-1演習室1006
18	実習室(3号館)
19	B101、本館305
20	mac演習室1301

【設問2】 設問 1 の回答理由を教えてください。

№	【設問2】 設問 1 の回答理由を教えてください。
1	教室の大きさが、広すぎず、狭すぎず、といった感じなので、空調の効き具合も丁度良く、心理的な圧迫感も感じることなく、心地良く授業を受けられます。
2	比較的広いのとラウンジがよい
3	生徒1人ずつ使える作業机があり、快適に授業に取り組めるため。
4	椅子が座りやすい
5	2号館自体が新しく、設備等が清潔であるため。
6	椅子と机が繋がっていると、体と机との距離感が自分と合わず体が痛くなるから。
7	長時間座ってても疲れにくいから。
8	空調が調度良く、椅子のクッション性も良いから
9	特になし
10	机や椅子を移動してグループワークができる。
11	パソコンを充電しながら授業を受けることができるから。講義の大半はパソコンが必要になるので途中で電源が切れてしまうとメモがとれなくなるため。
12	空調が効きやすく、広々している
13	3号館の教室のように椅子が固定されていないため、グループワークの時に話しやすい
14	実験室や実習室に関しては常に温度が一定に保たれており、春から夏にかけて不快さを感じる時期は少なかったです。
15	①エレベーターが止まるから移動しやすい点と空き教室の確率が高く貸し切れることが多いから。 ②エレベーターが止まらない階だからこそいつも空いていて穴場なため。
16	充電できるのがとても便利だから
17	机が大きいため制作しやすい。全体が開けているため、作業がどのくらい進んでいるかや、どのようなアイデアかなど授業中も影響し合いながら進めることができ、有意義だと感じるため。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドごとにモニターもついていて、動画や資料が見やすい ・今まで演習する上で、不便を感じたことがない ・空調がしっかりきいている
19	B101 席がすぐに見つかる 目が悪いから後ろにテレビあり助かる 本館305 プレゼンとか映し出す機械が3つある
20	ディスプレイが大きいので作業がしやすい。

【設問3】授業中に環境や設備で快適でなかった経験、困った経験があったら教えてください。

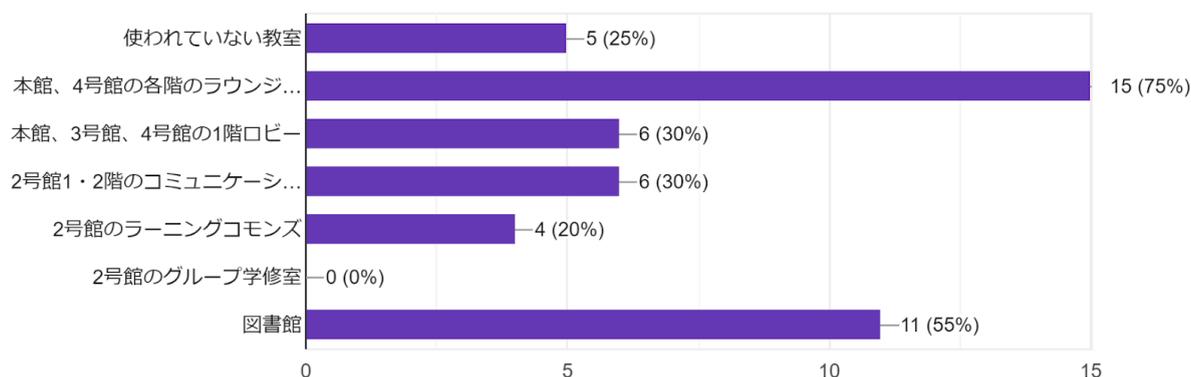
№	【設問3】授業中に環境や設備で快適でなかった経験、困った経験があったら教えてください。
1	本館の4階の小さな教室は、夏場に冷房を入れると、冷房が効きすぎてとても寒かったです。
2	Wi-Fiが繋がりにくい
3	エアコンの温度が変えられなかったり、暑い部屋と涼しい部屋の差が多い点 指定の座席の授業の際に、プロジェクターに近い席だと首が痛くなってしまった点 床固定式の椅子のシートが薄く、長時間座っていると腰などが痛くなってしまった点
4	空調環境、寒い教室が多い。夏前は暑い
5	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房が効きすぎて寒い ・机と椅子の間隔が近すぎる ・椅子が固く座り心地が悪い ・窓や扉などの設備が古い
6	本館の教室でパソコンを使用する授業なのにWiFiが教室に入ってこなくて使えなかったこと。WiFiが不安定で授業資料が読み込めないこと。本館や3号館でパソコンを使う授業でその場で充電ができないこと。
7	空調、ネット回線、608等真っ直ぐ座れず首が痛い、自動開閉の椅子(大講義室)狭い。
8	本館、2号館ともに、講義室の椅子のクッション性が低く、100分の授業中、ずっと同じ体勢でいることがつらい。
9	授業中にBeRealを撮る学生がいて、シャッター音がうるさかったこと。 3号館は地下の教室だとkyonetが繋がらないことが多々あったこと。
10	教室の席の空きがない程、生徒数が多い授業では話し合いが難しい。(快適に話し合うことができないし、一人で授業に参加しているとグループワークに参加しにくい時がある)
11	冷房の集中管理システムによって26度以下に設定が出来ず、暑くて講義に集中できなかった。
12	本館地下101 空気がよどみやすく、夏は暑いことが多いように感じる。
13	3号館の410、508教室は3人または4人掛けの場合、内側の人が出入りしづらい。グループワークの際に前後で話しづらい。
14	本館の講義室では2階と3階は梅雨前には時々寒いと感じることがあったり、梅雨明けですと効きが悪いなど感じることもあったりしたため、季節によって風力や空調を調整していただけると嬉しいです。
15	Wi-Fiが繋がりにくく、きょねつとが開けなかったことや受講者が多い教室はクーラーが効きにくいこと。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンが集中管理されていて教室が暑い ・2号館の可動式の教室は充電コンセントが少なく、PCの充電が1日中持たない
17	椅子と床が一体になっており、椅子が引けず座面の前の方に座らなければノートなど取りにくく、背もたれも使いにくい。また、前の列との間が狭く、机の奥の方にパソコンやものを置くと前の人の椅子が当たったり、髪の毛が机の上に進出して来る。通路に出たい時は、横の人に席を立ててもらわなければならない必要があり、出たい時に出づらく困ることがある。

18	構造上仕方がないが、階段上の構造になっている教室だと上の方に上がるほど空気もわっとして快適ではなかった
19	・夏場の冷房が効いてなくて暑くて授業に集中できない
20	なし

【設問4】 授業時間外でキャンパスのどのような場所で勉強していますか？利用する場所を以下から選んでください。

【設問4】 授業時間外でキャンパスのどのような場...すか？利用する場所を以下から選んでください。

20件の回答



選択肢：

- ・使われていない教室
- ・本館、4号館の各階のラウンジスペース
- ・本館、3号館、4号館の1階ロビー
- ・2号館1・2階のコミュニケーションギャラリー
- ・2号館のラーニングcommons
- ・2号館のグループ学修室
- ・図書館

【設問5】 設問4で選んだ場所のうち、よく利用する場所、気に入っている場所とその理由を教えてください。

No	【設問5】 設問4で選んだ場所のうち、よく利用する場所、気に入っている場所とその理由を教えてください。
1	空き時間は、図書館の個人ブースにすることが多いです。周囲の視線を気にする必要もなく、とても静かなので、居心地が良いです。また、プリントアウトしたいものがあれば、隣のエリアに設置されているパソコンからすぐに印刷できるところもとても良いです。
2	図書館3階の雑誌スペース側デスク。静かで良い
3	本館の各階のラウンジスペース 本館での授業しかないため、次の授業場所に行きやすい階のラウンジスペースを利用しています
4	本館1階の広い机

5	2号館の1.2階のコミュニケーションギャラリー
6	本館の8階ラウンジ。自分のロッカーが近いため。
7	空き教室が、周囲を気にしないで済むため、リラックスして学習できる。
8	自分のロッカーのある階のラウンジ すぐに荷物を出し入れできて便利なため
9	3号館の地下の学食・ラウンジスペース 人が少なく、うるさくないから
10	図書館をよく利用している。食べ物の制限がかかっている為、比較的最初から机を綺麗に使うことができる。1コマ以上長居しても問題がない。すぐにコピー機を使用したり、参考文献を探ることができる。
11	本館の12・13階のラウンジスペース。静かで開放感があるのでよく使用します。
12	図書館はとても勉強しやすく気に入っている。夏になると一階のロビーは蚊が沢山いて勉強しづらい。
13	図書館は静かで勉強する環境が整っている。
14	7階のラウンジスペースをよく使用しています。机が四角であったり、椅子の数も多かったりするため、グループワークの課題や友達と一緒に作業する際にとても作業がしやすいと感じています。また、コンセントをさせる場所が多くあるため、パソコンなどの電子機器も気軽に使いやすと感じています。
15	使われていない教室は、各階のラウンジスペースと比べて人がいないことが多いので課題を進めるのに集中しやすいから。各階のラウンジスペースは、ちょっとした空き時間にも使い勝手がよいためそれはそれで気に入っている。図書館や2号館に用がある際に利用しているが、前期は本館での授業が多くあまり利用できていない。
16	4号館の各階のラウンジスペース →人が少なく、静かで作業に集中しやすいため。飲食も自由でお気に入りです！
17	本館、10階のラウンジをよく利用している。本館10階での授業が多いことと教授や助手の行き来がある為、集中して勉強や作業を進めることができるため。また、机が広く作業がしやすく、椅子に丸く肘掛けがあり座り心地が他の椅子より良いと感じるため。 図書館はとても静かで、勉強に集中できるため。
18	3号館ロビー 一人席もあるし、授業の教室まですぐ行けるから
19	図書館 静かで集中できる ラーコモ 劇芸なので映像を見るのにとっても助かる
20	図書館 静かなので集中しやすい。

【設問6】 キャンパスで授業や勉強以外で何をしていることが多いですか？

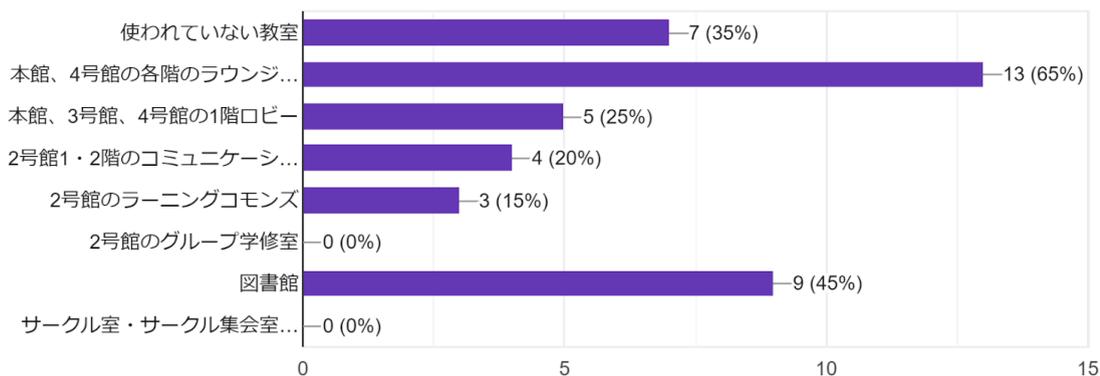
No	【設問6】 キャンパスで授業や勉強以外で何をしていることが多いですか？
1	アルバイトの時間まで中途半端に時間が空いてしまっているときに、時間を潰す目的でキャンパス内に留まることがあります。
2	読書

3	主に空きコマで、その日に出た課題やオンデマンド授業に取り組んでいます。
4	友達と話す
5	・食事 ・次の授業まで待つ ・話し合い
6	タブレットで映画鑑賞、編み物
7	睡眠、ゲーム、食事、雑談
8	食事
9	友達と話す・動画を見る
10	友達とのおしゃべり、お昼ご飯を食べる
11	就職活動、雑談
12	とくにない。
13	上記以外ではキャンパスにいることはない
14	食で世界を笑顔にする会 くすくすの一員として活動したり、友達と学校付近の美味しいご飯屋さんやカフェなどを探して実際に行ってみたりしています。
15	週一で、2号館5階で留学生のチューターボランティアをしている。
16	友達とお話
17	課題の制作をパソコンを使って進めたり、スケッチを描いたりしている。 ご飯やおやつ食べたり、同級生などと対話をしたりしている。
18	友人とおしゃべり
19	友人との雑談
20	睡眠

【設問7】 空き時間など授業や勉強以外に多くの時間を過ごす場所がありますか？以下から選んでください。

【設問7】 空き時間など授業や勉強以外に多くの時...す場所がありますか？以下から選んでください。

20件の回答



選択肢

- ・使われていない教室
- ・本館、4号館の各階のラウンジスペース
- ・本館、3号館、4号館の1階ロビー
- ・2号館1・2階のコミュニケーションギャラリー
- ・2号館のラーニングcommons
- ・2号館のグループ学修室
- ・図書館
- ・サークル室・サークル集会室（サークルや部活動はどこで行ってますか？）

【設問8】 キャンパスで気に入っている場所、好きな場所とその理由を教えてください。

№	【設問8】 キャンパスで気に入っている場所、好きな場所とその理由を教えてください。
1	前の設問でも回答しましたが、空き時間は、図書館の個人ブースにすることが多いです。周囲の視線を気にする必要もなく、とても静かなので、居心地が良いです。また、プリントアウトしたいものがあれば、隣のエリアに設置されているパソコンからすぐに印刷できることもとても良いです。
2	本館15階のラウンジあまり人が来ないので落ち着く
3	4号館にある1人用の囲まれたソファや、2号館の廊下の壁沿いの休憩スペース、図書館です。落ち着いた空間で過ごせるため好きです。
4	6階のラウンジ、ロッカーが近いので友達が多く集まる
5	2号館のコミュニケーションギャラリー
6	本館のラウンジ。 使われていない教室に入るのはなんとなく気が引けるからラウンジに居ます。
7	13階のパソコン室。空調、ネット設備、椅子の座り心地等快適なため。
8	自分のロッカーのある階のラウンジ 荷物をすぐに出し入れできて便利なため
9	設問5と同じ
10	本館1階ロビー。全ての学部の人たちが行き来するので、友達に偶然会いやすいし、待ち合わせ場所にも最適だから。
11	2号館1・2階のコミュニケーションギャラリー。机が広く、友達と雑談をしたり一緒に作業が出来るので気に入っています。
12	とくになし。
13	図書館 様々なタイプの椅子がある、映像教材がある、自分が持っていない参考書がある
14	ラウンジスペースにずっといることが多く、友達と相談しながら課題を行えることや、おしゃべりすること、自分1人で勉強することなど時と場合によって集中したり、リラックスできたり、各々の過ごし方ができるスペースであるため日々利用させていただいています。

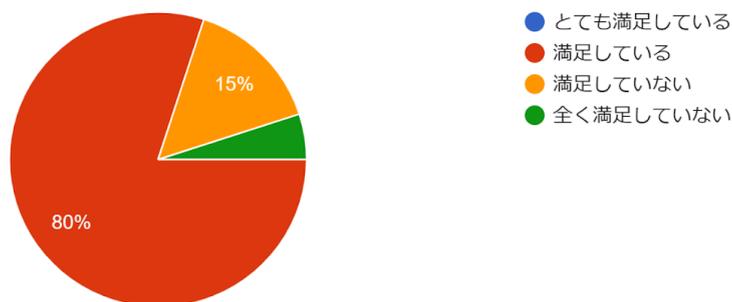
15	気に入っているのは、ボランティアで使っている2号館5階ラーニング commonsの畳のエリア。その理由は、普段は椅子に座って授業を受けるため、キャンパス内に畳教室があることが新鮮であり落ち着くから。
16	4号館の各階のラウンジスペース →2号館に比べ人が少なく、空いていることが多いため。
17	図書館は、個室のような椅子があり、安心して休憩でき気に入っている。
18	3号館ロビー ・帰りがけに過ごしやすい
19	2号館801 アイスの自販機やくつろげる椅子がある リブコモ 映像を見るのにも印刷するのにもとても助かる。ゼミの発表の前はよく籠る。
20	ラウンジ 食事をしながら作業できるから。

2. 事後アンケートの詳細

対象：学生評価委員全員（20名）
回答期間：7月29日（月）～8月9日（金）
回答率：100%（20/20名）

【設問1】 本学の教室（実験室/演習室などを含む）環境について

【設問1】 本学の教室（実験室/演習室などを含む）環境について
20件の回答



【設問2】 そのように評価した理由を教えてください

No	【設問2】 そのように評価した理由を教えてください
1	大学によっては、机や椅子が固定されていたり、木製で長時間の利用が困難な設備の教室が多くある中で、共立の教室の設備はかなり良心的だと感じているため。

2	設備が綺麗だから
3	基本的には満足していますが、第1回目の学生評価委員会で挙げられた改善点のほとんどに共感したため、今回を機に少しずつ改善してもらえると嬉しいです。
4	椅子が硬いなどあるが、全体的に清潔感があるから。
5	2号館や本館についてはグループワークや主体的な学びを促進する学習環境が整っていると感じた。一方で、3号館などは一人で集中できる環境が整っていないことが分かったため。
6	空調管理が行き届いていないと感ずることがあるから。また、他学部の方のお話を聞き、教室のモニターの設備の違いや可動式機の教室とそうではない教室とで授業の受けやすさが異なるということを知ったから。
7	設備が充実しており、授業の際に困らないので。
8	2号館の施設を利用する際はとても学習しやすいが、3号館はネット環境が悪くなったり、スライドが見れないことなどが多々あるから。
9	全体的には満足していますが、主に使用している3号館の設備が他の号館に比べて古いものが多いため。
10	私は食物栄養学科の管理栄養士専攻で主に実験室や座学は中規模のクラスを使用していますが、実験室の環境はとても過ごしやすいと感じています。しかし、2号館の設備を見た時に本館のプロジェクターは電気を前の方は消灯しないと見えづらいことが集中力ややる気が切れやすいことに繋がると感じました。
11	演習に適した設備が備わっているから利用しやすい。
12	多くの教室で空調が効いており、ラウンジや図書館など学習しやすい環境が整っている。特に2号館は、椅子や机動かせたり、スクリーンが見やすかったりと集中して授業に取り組めることだ。しかし、本館や4号館では快適ではないと感じる所があることがある。
13	3号館の設備が老朽化している。グループワークに適していない。
14	2号館の教室ではグループワークがしやすいため。
15	学習環境や2.4号館等力が入っている反面、通信環境や建物、学部によって差が生まれているため。
16	良い点もあるが、改善点も考えられるため。 いい点として、 ①本館B101 目が悪いから後ろにテレビあり助かる ②本館305 プレゼンとか映し出す機械が3つある ③2号館はグループワークしやすい があげられる
17	満足していない部分よりも、満足している部分が多いため。
18	Wi-Fiが繋がりにくい
19	パソコンを使うCADの授業で、空きコマや土曜日などにもパソコンを使わないと完成しない課題がありました。多くの学生が使いたがっていましたが、他の授業をやっていて使えない時間が多すぎたため、中々使えませんでした。また、使える時間には学生が殺到し、順番が中々来なかったため、夜までかかりました。パソコンを使える部屋を増やして欲しいです。また、実習室が狭いです。特に和裁室は狭すぎて危険だと思います。隣の学生が近すぎるため、コテを扱う際にぶつかってしまうことが多く、危険です。実際、相手に当たらないように縮こまって作業をしていたら、火傷をしました。

20	各ベッドに大きなモニターが設置してあったり、実際の病棟のような設備が整っているため。また空調がしっかりきいているため。 3号館の女子トイレには、無料で生理用品を設置してある所があり、急な事態に備えることができるため。
----	---

【設問3】改善が望まれることがあれば教えてください

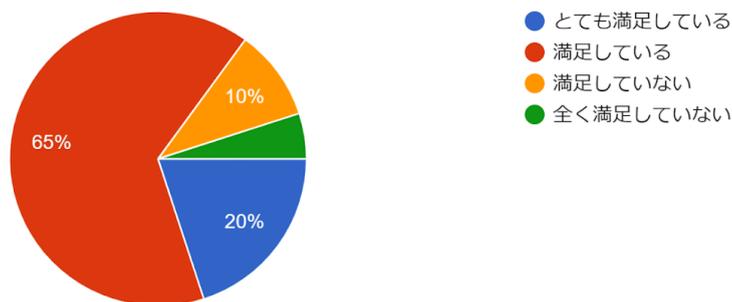
No	【設問3】改善が望まれることがあれば教えてください
1	委員会でも多く出ていた意見ですが、教室の空調に関して、場所によって暑かったり、寒すぎたりすることがよくあるので、改善されれば良いと思います。
2	空調設備（教室によって、また教室内でも場所によって温度が全く違う）、椅子のクッション性、机の間隔が近い、Wi-Fi
3	時期的に空調が1番気になりました。講義室の大きさに合わせて調整可能にしていきたいです。
4	空調設備について。集中管理で26度より下げられない設定になっているため下げられるようにして欲しいです。階段教室の、上と下で空調の効きが違うのも改善をお願いしたいです。
5	空調管理。 開講科目と実施教室の組み合わせ。
6	固定された椅子のシート部分が薄く、授業終わりに腰が痛いという学生を多く見かけます。そちらの対応をよろしくお願いします。
7	号館によって設備が異なること。 良い設備があるのに周知されていないため、それを周知していくこと。
8	本館の地下や五階の教室は縦長なため、モニターが設置されているがスピーカーも一緒に設置していただくと後ろまで声通って授業が受けやすくなると思います。
9	本館10階の演習室で有機溶剤を含むモノを使ったりすると換気が間に合っていないと感じるため、換気機能を改善してほしい。
10	机や椅子を可動式にしてほしい。一人で勉強するスペースやラーニングコモンズのようなグループワークの準備ができるスペースを3号館にも設けて欲しい。
11	授業の人数と使用用途に合うように教室の調節をして欲しい。
12	2,4号館以外のプロジェクターや通信環境が不便に感じることもある。また、他の学部では3号館の老朽化等があげられた。
13	グループワークの授業は、机や椅子が動かせる2号館で行って欲しい。 ex.本館の机や椅子が固定されている教室だと、長時間体を捻る姿勢が辛い。
14	空調設備を部屋ごとにできるようにしてほしい。
15	Wi-Fiの強化
16	パソコンの設置台数を増やして欲しいです。演出用パソコンもですが、ラウンジに置いてあるプリンター用のパソコンも混んでいて使えなかったことが多々あるため、増やして欲しいです。 また、和裁室の拡張、もしくは、開講数を増やして1授業あたりの人数を減らして欲しいです。

17	<p>【3号館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段状になっている教室は、構造上仕方がない事だと思うが、後ろの席になるほど空気かもわっとしてくる感覚があり、不快感を感じる事があったため、窓を開ける時間を設定したり空調整備をしていただきたいです ・更衣室は空調がきいていないため、演習の前後などの人が多く集まる時間はさらに暑く感じたため空調整備をしていただきたいです
----	---

【設問4】 本学の授業時間外の学修環境について

【設問4】 本学の授業時間外の学修環境について

20 件の回答



【設問5】 そのように評価した理由を教えてください

No	【設問5】 そのように評価した理由を教えてください
1	授業時間以外で大学の施設を利用するとき、2号館の図書館の個人ブースにすることが多いのですが、周囲の目を気にせずに一人の時間を過ごせたり、集中して課題をこなすことができるので、満足しています。
2	設備が綺麗だから
3	留学生のチューターボランティアで使わせていただいている2号館5階のラーニングコモンズが非常に綺麗で活動しやすいためです。
4	集中出来る場所とリラックス出来る場所が棲み分けされているから
5	空きスペースがあったら机や椅子が設置されているので、その日の気分に合わせて学習環境が選べるので学生の主体的な学びを促進している環境だと考える。
6	私自身は、様々な用途や気分に合わせて学修場所を選べると感じているから。しかし、今回の話し合いより建物によっては光の影響などで学修環境に適していないという意見があったため。
7	様々な椅子があり、その日の気分好きな場所で過ごせるので。
8	2号館の設備はとても良いが、3号館においては、個人で使えるスペースがあまり無く、学修環境があまりよくないから。
9	2号館や4号館は自習などの環境に適している。
10	ラウンジの机は四角い方が使いやすいことや、階によっては窓の大きさが異なり空調が調節しにくいから。

11	図書館など一人で集中できるスペースが設けられているから。
12	本館では各階に多くラウンジがあり、集中してオンデマンド授業や課題を進めることができる点。図書館は、静かで特に集中して勉強ができたり、休息スペースがあったり、とても充実していると感じる。
13	図書館、ラーニングcommons、オープンエリアなど勉強したり、考えをまとめる為の場所がある。
14	勉強する為だけの場所やグループワークをする為の場所など、きちんと分かれているから。
15	友達と話す時は空き教室、少人数であればラウンジ等場面によって使い分けられる場所があり、授業外も充実している。
16	空きコマでオンデマンド授業受ける分には1階のロビーとかどこでも受けやすい環境、私が所属している劇芸のプレゼン作りの環境としては整ってはいる。ex.ラーコモでは、DVDも見れて、印刷もできて一箇所ですべて完結できる。 しかし、他学部の学びの特色（授業外学習）にそった改善の余地があるため。
17	満足していない部分が少ないため。
18	図書館が充実している
19	ラウンジの席数が足りていません。学食が混んでいるため、休み時間内では昼食をとる事が出来ないため持参した昼食をとっています。しかし、ラウンジが空いていないことが多く、毎回困っています。チャイムが鳴って、休み時間に入ってから席を探すのでは大抵埋まっています、座ることが出来ません。また、空き教室は使っていないとなってはいますが、マナーの悪い学生により消しカスが放置されていたりと、とても食事をする気にはなれません。
20	机と椅子というセットが多くあり過ごしやすい

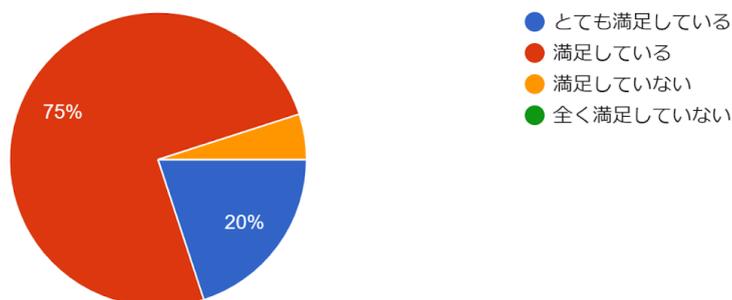
【設問6】改善が望まれることがあれば教えてください

No	【設問6】改善が望まれることがあれば教えてください
1	私は普段、本館と2号館以外はほとんど使用しないのですが、3号館の設備がいろいろと不便だという意見を聞いたので、号館による設備の差が改善されるの良いと思います。
2	静かに集中して自習できる場所が少ない
3	基本的に気になることは無いのですが、強いて言うなら飲食禁止なところが少し厳しいかなと思いました。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・昼寝スペースが欲しい ・6階ラウンジが暗くて学習しづらいため手元灯など欲しい ・ラウンジの空調が入っていない時があるように感じるため適温を保って欲しい ・印刷機の近くに業務用のホチキスが欲しい
5	グループ学習室の運営方法を改善していただきたいです。
6	2号館と比べて本館のグループ学習に便利な場所があれば良いと感じました。
7	3号館に個人で使えるスペースを作ること。
8	私はラウンジにいたことが多く、ラウンジの机がもう少し四角い机が増えるとさらに利用しやすくなると思いました。今回の話し合いで2号館の設備について詳しく知りました。なので、もっといろいろな学部の人が自分たちの用途目的にあった教室使いができるということを知る機会があれば良いなと感じました。

9	演習室でしか作業できないものなど空きコマや放課後などに使いたいが、多くの時間が授業で埋まっており、演習室での作業ができないことが多く不便に感じている。お昼や時間によって各階のラウンジが混み、空いている所を探し出すのに苦労することがあり、一人や二人用の机や椅子が多くあるとより良いと感じる。
10	4号館の勉強スペースについて、今回の委員会に参加するまで知らなかったため、周知する活動があると良いと思います。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・コピーできる場所に置いてあるパソコンが、場所によって起動する時間が遅いものがあり、混雑したり、授業に間に合わない時もあるので対策をして欲しい。 ・ラーニング commons の演習室は予約できることは知っているが、当日にすぐに予約できない等の不便さがある。
12	ラウンジのテーブルは丸でなく四角の方が使いやすいと感じる。
13	<p>課題に取り組む（個人） （改善したい点2点）</p> <p>①レポートを印刷することが多いのに、プリンターが少ない。 家庭用ホチキスだと20枚とか止まらないから、そのためだけにリブコモに通っている →プリンターの上にホチキス置いて欲しい</p> <p>②吹き抜けではない本館の6階などは暗い →照明を工夫して欲しい</p> <p>課題に取り組む（グループ） （改善したい点2点）</p> <p>①三号館はグループワークできる場所が1階のラウンジしかなくて、冬寒い 他の号館でも、 2号館のグループ学習室は事前予約制で使いづらい →前日まできょねっと予約、当日は予約の時間表を印刷して各教室に貼る、空いたら記名して使っていていいに変更して欲しい</p>
14	虫対策(蚊)が多く困っている
15	できればマナーや教養の本が増えてほしい
16	ラウンジの席数を増やしてください。

【設問7】 本学での学修以外の大学生活の環境について

【設問7】 本学での学修以外の大学生活の環境について
20件の回答



【設問8】 そのように評価した理由を教えてください

№	【設問8】 そのように評価した理由を教えてください
1	委員会でも出ていた意見ですが、静かに過ごしたい人と、おしゃべりを楽しみたい人、それぞれのニーズに合ったスペースがあるところが良いと思います。
2	設備が綺麗だから
3	椅子や机の設置数が多いところが助かってます。少し時間を潰したい時に休める場所があったり、使い勝手に応じて場所を選べる点が良いなと思います。ここに記入してよいのか分からないのですが、トレイに生理用品を設置してくださるようになり、私含め友達も助けられていました。ありがとうございます。
4	友達と話す時間が楽しく、そう思える環境があると感じたから
5	友達と交流できるスペースがあったり、図書館も充実しているので特に不満なところはない。
6	基本的に清潔で快適に過ごせているから。
7	居場所が多く、ゆっくりと過ごせるため。
8	基本的には満足しているが、エレベーターの利用方法について少し困ることが多い。三号館は一つしかエレベーターがないのにも関わらず、低層会を利用する人がエレベーターを利用してしまい高層階に行きたい人たちが階段で行く羽目になるから。
9	特になし。
10	いつも使う施設が決まっていて、どの施設に何があるのか把握しきれていないところがあるため。
11	購買が使いやすい
12	共立アカデミーが就活の分野だけでなく、防災、生活に役立つことなども充実していることや企業の説明会などがある点が大学生活を充実したものにしていると感じるため。
13	食物栄養学科があるのに学食のメニューにオリジナリティがない。
14	サークル活動については参加していない為分からないが、他の委員会の仕事をする際、外部への取材がしやすい環境である。
15	ナプキンの配布や食堂等、学生生活が送りやすい工夫がされているため。
16	<p>学習以外の作業で使うのにお気に入りの場所が複数あるから。</p> <p>本館 場所：ロビー窓側（袴レンタルスペース） 用途：ひとりで作業するときに贅沢に使える 理由：椅子がフカフカで机が広い 2号館（3箇所）</p> <p>場所：801（ラウンジ） 理由：アイスの自販機やくつろげる椅子、充電コードがある 用途：PC作業はもちろん、息抜きもできる</p>
17	満足していない部分が特にないため。
18	立地が良い
19	特に大きな問題は無いため。

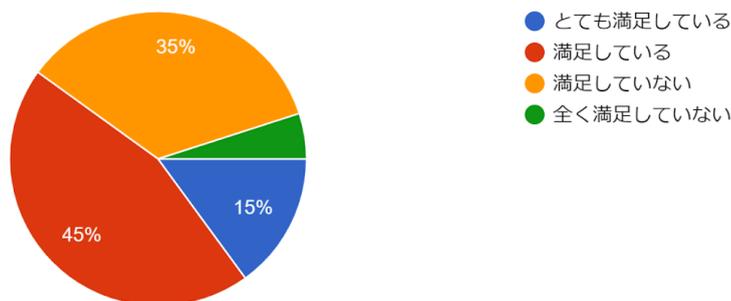
20	授業終わった後はすぐ帰宅する事が多く、学修以外の時間を過ごすことは少ないが、今の所不便だと感じたことがないため
----	---

【設問9】改善が望まれることがあれば教えてください

No	【設問9】改善が望まれることがあれば教えてください
1	本館13階のラウンジはお昼頃になるといつも混みますが、座るスペースが無く、ほかの空きスペースを求めて移動する学生もよく見かけます。あのようなスペースが増えれば、空きコマや放課後の時間がより有意義になると思います。
2	生理用品の設置箇所をもう少し増やしていただけたら助かります。
3	自動販売機を全ての階のラウンジに設置して欲しい
4	教室予約状況がもっと確認しやすい制度を導入して欲しい。現在、教室予約をしていることが他の学生に伝わっておらず追い出したりミーティング中に入ってくることもある。教室予約状況を簡単に確認できる制度が導入されれば、このようなことも減り、空きスペースの活用も出来ると考える。
5	学修以外という面では、ラウンジ等にもう少し飲食の充実があると嬉しいです。
6	本館にも一人用の椅子と机が植えれば良いと感じています。
7	エレベーターの利用方法についてルールを設ける。
8	各施設に何があるのか把握して利用できていないため、各号館の施設の紹介が多くの人目に留まる宣伝があったら良いと思います。
9	食物栄養学科の学生の意見をとりいれたオリジナルのメニューを置いてほしい。
10	(今回の評価委員会では話していなかったが)ゼミの授業以外でゼミ生が集まりやすいような環境があると嬉しいと感じた。他大学の理系学部のように、自由に出入りができる研究室のようなもの。
11	食券や収入印紙の決済方法が増えると便利だと感じる。
12	とくにない。
13	長期休暇中に大学から大量のメールが送られてくることを改善して欲しいです。全く休めません。また、学生は24時間いつでもメールが送られてきて、確認が遅れると誹りを受けますが、先生方はメールを見れる時間に限りがあるため、タイムラグがあります。実際に、夜の21時や23時に連絡が来ていて、確認しないと授業やプロジェクトに影響が出てしまう内容だったことがあります。これはアンフェアだと思うので、学生も夜や休暇中に送られてきていたメールは確認していなくても問題ないようにして欲しいです。そうでないと、休暇中に課外活動などに注力できません。履修登録などの重要なメールを送る期間は予め明確に提示して、それ以外の期間では四六時中メール確認をしなくても良いようにして欲しいです。

【設問10】 kyoritsuマイパソコンを活用する環境について

【設問10】 kyoritsuマイパソコンを活用する環境について
20件の回答



【設問11】 そのように評価した理由を教えてください

No	【設問11】 そのように評価した理由を教えてください
1	私個人として、パソコンの利用時に困ったことは特にはないので。しかし、他の学生の話では、ネットワークやWi-Fi環境が原因で上手く利用できないことがあったという話はよく耳にします。
2	3,4限の始まりの時間帯のWi-Fiがなかなか繋がらないから
3	WiFi接続問題以外で困ったことはなかったためです。
4	通信環境は概ね満足しているが、使う授業が少ないため本当に購入する必要があったか疑問に思うため
5	昨年よりはインターネットの繋がりが良くなったと感じるからだ。昨年は、テストの時など一斉にパソコンを使わなければならないとき、回線が落ちてしまったり繋がりが悪い印象があったが今年は回線で困ったことはなかったから。
6	Wi-Fiが繋がらない時や繋がっても動作が遅い時があるから。
7	データ保存が便利で、どこにでも持ち出すことができるため。
8	パソコンを持っていないとかでも、借りて使用することができるから。
9	Wi-Fiが繋がりにくいことが多々あるため。
10	時々接続が切れてWi-Fiが繋がらないことがあるため。
11	マイパソコンがあることで、いつでも好きなところで学習をすることができ、自分の学習スタイルにあっていると感じたから。
12	全ての場所で使うことができ便利である。しかし、場所によってはWi-Fiが遅くオンデマンドの授業など止まってしまうことがあることだ。
13	社会の流れに合致している。
14	学生にとっては使いやすいと感じている。
15	マイパソコンという制度自体は学修がしやすく良いと感じている。しかし、授業内で課題や資料の閲覧等パソコンを使う機会が増えた反面、通信環境が悪くkyonetが開けない、それにより授業に遅れをとることがあるため。
16	デザインツールをよく使うアルバイトをしていたため、MacBookを使っていて、わからない

	です。
17	とても満足しているわけではないため。
18	wifi環境があまり良くない
19	とても使いにくいです。接続が安定しないことが多く、困っています。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンド授業を受けやすい ・ 課題を提出しやすい ・ 資料の管理がしやすい

【設問12】 改善が望まれることがあれば教えてください

No	【設問12】 改善が望まれることがあれば教えてください
1	号館によってパソコンの使いやすさが変わることはないように、平等に環境を整えば良いと思います。
2	Wi-Fi
3	人が多い環境や、本館の上層階になるにつれ回線が悪いように感じました。
4	本館での授業運営で先生方が困っていると前回の学生評価委員会で挙がっていたので、この部分が改善されればさらにスムーズな授業が出来ると思う。
5	Wi-Fiの改善。
6	本館にも充電器貸出があればより快適になると感じました。
7	2号館でしか借りることができないという点。
8	同じクラスの人と課題を行う時に同時にパソコンを起動すると接続しにくいことがあるので改善していただくと学習環境はさらによくなると思います。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に取り組んでいる際、何も打たずに考えている最中に、打ち込んだデータが全てリセットされること。 ・ クリッカーをあまり使う頻度がない為、授業中の質問や回答に使うようになると、さらに良い授業になると思う。
10	通信環境の強化や、kyonetが開けない学生への配慮があればやりやすいと感じる。
11	本館、2号館でのWi-Fiが途切れてしまうことがあるため、対策してほしい。
12	サーバーの強化です。（サーバーが応答しません）と言われることがとても多いです。WiFiが安定した環境で見てもなるので、とても困っています。また、授業中に開くことを指示される際は、大抵混みあっていることが原因なのか、ページを開けません。折角クリッカーなどの機能があるのに、ページを開けないので、授業に支障が出ます。また、クリッカーで出席を付ける先生もいらっしやるので、スムーズにページを開けないというのは大きな問題です。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の配布について、電子で管理するのがほとんどだが、時々、電子の資料配布しない授業もあり、電子資料の配布を統一していただきたいと思います。（配布しない授業でも、頼んだ所すぐ電子の資料を配布していただきました。）

【設問13】 本学のキャンパスについてその他の意見やコメント、要望などがあれば教えてください。

No	【設問13】 本学のキャンパスについてその他の意見やコメント、要望などがあれば教えてください。
1	委員会でも出ていた話ですが、グループワークのスペースについて、事前予約無しでも気軽に利用できるスペースが増えれば、もっと便利になると思います。
2	無理を言っているのは100も承知ですが、雨天の際の移動が大変なので、地下道で各号館の行き来が出来たら良いなと思ったことはあります。本館の目の前の信号も短い距離なのに青の時間が短いため、駅から直結していたら最高だねと友達と話していました。
3	全体的に2号館や本館の設備が整っているので、他の館の設備も充実出来ると学生全員が良い気持ちで学習に望めると考える。
4	特にないです。
5	様々な設備があるのに対し、認知されている割合が少ないように感じます。実際私も入学してから、二号館のグループ学習スペースの存在や、予約方法なども自分ではよく分からず、他にも設備の貸し出しなども全てわかるような冊子が配られると便利だと感じました。
6	特にないです。
7	卒後、就職ではなく進学を希望する際の、学校側のサポートがあるかどうか分かりにくいので、参考になる資料があればkyonetなどでお知らせのようなものが欲しい。
8	総じて2.4号館は力が入っており理想系であるが、その分他の館（他の学部）との差があることが改善されていくとより良いと感じた。 ですが、私たちがより生活しやすいようこのような取り組みを行ってくださり、感謝しております。
9	とくになし。
10	本館2階の204や206などのような机と椅子が繋がっているものがとても座りにくく、勉強しづらいので、変更して欲しいです。体と机に空間がありすぎるため、姿勢が悪くなり腰痛の原因になっています。大学という学業に勤しむ場に相応しくない設えかと思います。また、こうした大学をより良くするための意見を持っている学生は多くいると思います。それらの声をひとつでも多く拾うために、定期的に全学へ向けてアンケートを実施するなどして欲しいと思います。

【設問14】 学生評価委員会について感想やコメント、要望などがあれば教えてください

No	【設問14】 学生評価委員会について感想やコメント、要望などがあれば教えてください
1	他にどのような学生が参加するのか少し不安でしたが、参加していた学生一人一人が、自分の意見を持ち、それを言葉にしてまとめるという作業をしっかり行っていたのがとても良かったです。委員会全体の雰囲気も良く、有意義で充実した話し合いだったと思います。
2	グループワークで時間内に意見をまとめるのが難しかったため、良い経験になりました。

3	初めは緊張していたのですが、違う学部の学生さんと交流してみて、普段、自分なら気がつかないような改善点もたくさんあがって非常に新鮮でした。1つ要望があるとしたら、開催時刻をもう少し早めていただけたら幸いです。 次回もよろしくお願いいたします。
4	学生評価委員会に出て、本学の設備の意図について知ることができた。入学当初も設備の意図についてお話があったかもしれないが、大学運営側の意図をもっと学生に広めることが出来れば設備について納得して学生生活を送れるのではないかと思った。
5	先日はありがとうございました。学生という立場から大学をよりよくするために意見をいえるというのは貴重でありがたい機会だなと思いました。また、他学部の方とディスカッションをすることで、自分は知らない共立の魅力や改善点を知る機会になりました。このような場を設けていただきありがとうございます。第2回も引き続きよろしくお願いいたします。
6	違う学部の方と話し合うことで、キャンパスの知らなかった部分を知ることができ、興味深かったです。
7	学部学科によって使用している教室や授業形態が全く異なり、話し合いの観点も学部ごとの特徴があり、新しい発見が多かったです。また、他学部と交流できる機会がお互いに中々無いことが分かり、親睦が深まる時間となって充実した時間だと感じました。
8	主として利用している校舎が異なり、学修内容により望む環境が違う他学部の学生と話し合えて多くの気づきが得られた。 今後、機会があれば、多学部連携の授業について話したいです。
9	予想以上に生徒同士で学校について活発に話しあうことができたので嬉しかった。学校側が生徒について真剣に考えてくれていることも伝わってきた。
10	特にございません。次回もよろしくお願いいたします。
11	さまざまな学部の方と学校について考えることができ、とても良い経験になりました。
12	普段中々こうした意見を聞いていただける場が無いので、大変貴重な機械をいただいたと思っております。是非活かしていただきたいと思います。 ありがとうございました。

2024年度第2回学生評価委員会 開催報告

1.開催概要

日時 : 2025年1月31日(金)17:00~18:30
テーマ : 「リーダーシップの共立」の取組みについて
開催形態 : 対面グループワーク形式

<目的>

共立リーダーシップの育成を目的とした正課科目および正課外活動について、昨年度と比較し、取り組みの充実度や学生の意識・意欲の高まりを評価し、具体的な課題や改善点を明らかにする。
(正課科目は特に学部・科レベルに焦点をあてる)

<評価の対象>

「リーダーシップの共立」の取り組みの充実度・認知度・参加度の評価

<評価の観点と活用方法>

観点	活用方法
・「共立リーダーシップ」の概念が学生に広く認識されているか。 ・学生が「共立リーダーシップ」の概念を理解した上で、授業や正課外活動において主体的にリーダーシップを意識し、発揮できているか。	認知度・参加度の把握 意識づけ
・「リーダーシップの共立」を意識した学修活動(正課・正課外)に参加してどのような手ごたえ・課題を感じているか。	個別具体的な取組の 改善
・「リーダーシップの共立」を目指して行う取組みの内容、実施時期・方法、優先順位などについての、意見・不満・要望を把握し、改善すべき点を明らかにし、提言につなげることができるようにする。	全学的な取組の改善

2.プログラム

当日出席者 : 14/20名 (出席率70%) 3チームに分かれて活動

2-1.事前活動

①【事前動画視聴】

学生評価委員会の役割と位置づけについて (本委員会の目的の理解)

②【事前アンケート】

「共立リーダーシップ」「リーダーシップの共立」について

2-2.当日の活動

①開会の挨拶 (副学長)

学生評価委員会の目的と意義/学生評価委員会に期待すること

②本日の活動の目的と流れ説明

③「リーダーシップの共立」「共立リーダーシップ」についての説明

④ウォームアップの意見交換

- ・自己紹介 : アイスブレイクをまじえた簡単な自己紹介等
- ・事前アンケートの結果の確認 : 改めての結果の確認
- ・模造紙を活用した意見交換 : 事前アンケートの観点に基づいて「リーダーシップの共立」「共立リーダーシップ」に関して感じていることや、考えていることを自由に書き出しながらの意見交換

- ⑤各グループでの意見を全体にむけて共有
- ⑥グループワーク【協議】リーダーシップの共立をより実質的なものにするために
- ⑦グループごとに出た意見を発表
- ⑧閉会の言葉（副学長）
大学・短大側からのフィードバック

2-3.事後活動

- ①事後アンケートの回答
- ②kyonetマイステップの登録

3.学生評価の総括

本委員会では、「リーダーシップの共立」の取り組みについて、学生の認知度や参加度、意識の高まりを評価し、具体的な課題や改善策について議論を行った。

・「共立リーダーシップ」の認識について
「共立リーダーシップ」の概念は学生に広く浸透していることが確認された。昨年度（2023年度）の委員会（※2023年度第2回学生評価委員会報告書）では、「共立リーダーシップ」に関する学生の認識は表面的な理解にとどまる傾向が見られた。しかし、本年度（2024年度）は、「リーダー＝権限を持つ人」だけが発揮するものではなく、「目標を明確に掲げ、共有した上で、率先して行動し、他者との相互支援関係をつくることで目標達成に近づいていく能力」であり、一人ひとりが他者と協働して自分らしいリーダーシップを発揮する「全員発揮型のリーダーシップ」であるという理解が深まった。今後の課題としては、学部の専門性や卒業後の進路を反映した各学部ごとの共立リーダーシップの考え方を明確にしていくことがあげられた。

さらに、初回授業でディプロマ・ポリシーの説明が義務付けられているが、形式的な説明にとどまっているケースが多いとの指摘があった。そのため、初回授業では、「この授業でどのように共立リーダーシップを発揮できるか」「どのような共立リーダーシップが期待されるか」といった点を具体的に解説することで、学生の理解を深め、より効果的なリーダーシップ教育につなげることが求められる。

・授業や課外活動におけるリーダーシップの実践について
リーダーシップを学ぶ機会について、2023年度は必ずしも十分に認識されていなかったが、2024年度は授業や正課外活動を通じて学べる場が多くあることが学生に広く認識されるようになった。さらに、個別の授業や学部・学科単位での取り組みだけでなく、大学全体としてリーダーシップ教育が進んでいると感じる学生が多かった点も、本年度の特徴として挙げられる。

特に、教養教育科目を通じてリーダーシップ学修しているという学生が多く、「基礎ゼミナール」「課題解決ワークショップ」「現代社会の諸課題」「リーダーシップ開発演習」における学修経験が多く挙げられた。

課題としては、全体的に「専門科目でのリーダーシップ教育の実感が薄い」との意見があったことに加えて、学部間での専門科目でのリーダーシップ教育に差がみられるとの指摘が多く見られた。具体的には、学部によっては概念を学ぶ機会はあるが、学んだリーダーシップの概念を実践する機会が不足しているとの意見が多かったため、授業内でグループワークの実践機会を増やすことや、さらには学部横断的にリーダーシップ教育を学べる機会を増やすことが要望された。また、グループワークを行う際は学生により取り組み方に偏りが出ることが指摘されており、その際の評価方法や役割の明確化が求められている。

特に正課外活動（サークル、部活、学生スタッフや委員会、共立Stand Up!プロジェクトなど）を通じた「共立リーダーシップ」育成が充実しているとの意見が多かった。今後は、共立リーダーシップについて学外へ発信していくことや、他大学の学生と共に学ぶ機会を設けることで、本学のリーダーシップの学びを深めることができるとともに、その特色について、広い認知につなげることができるという意見があがった。

さらに、リーダーシップに関する振り返りの機会について、活動後はマイステップへの登録や各学年末での学修目標の振り返りの機会があるが、それだけではなく、自身のリーダーシップに関する成長を一目で分かるものがあればモチベーション向上につながるという意見もあがった。

4. 事前アンケート結果の概要

総回答件数：20件/20人（回答率100%）

アンケート結果：[別紙1「2024年度第2回学生評価委員会 事前アンケート結果」](#)を参照

【設問1】

本学が掲げる共立リーダーシップとはどのようなものか、知っていることを具体的に教えてください。知らない場合は無記入で大丈夫です。

【設問2】

教養科目や専門科目で共立リーダーシップをふまえた授業を履修したことはありますか？授業名とリーダーシップをふまえた内容や活動を教えてください。複数の授業がある場合はそれぞれ個別にお願いします。また、授業名が思い出せない場合は授業でリーダーシップを意識した内容や活動だけでも構いません。

【設問3】

「共立リーダーシップ」に関係する正課外活動（授業外の活動）に参加したことがありますか。学生評価委員会以外で該当するものがあれば列挙してください。

【設問4】

本学ではリーダーシップ教育を進めていく上で様々な取組みを進めておりますが、現状で効果が高い（有効に機能している）と考える取組みを全てお選びください。

5. 当日委員会活動の詳細

開会の挨拶で学生評価委員会の意義・役割を確認し、「共立リーダーシップ」の在り方について、学生の視点からどのように改善できるかを考えることが本会の目的であることが共有された。事前アンケートの結果をもとに、学生のリーダーシップに関する認識や課題についてグループワークを実施し、その後「共立リーダーシップ」の4つの観点に基づき、課題と改善策について議論を行った。大学・短大側（教職員）からは、学部・学科ごとにリーダーシップの捉え方に差がある点や、リーダーシップ教育の体系化・実践のバランスの重要性について説明があり、学生の意見を踏まえた今後の教育改善の方向性について示された。グループワークでまとめた意見の発表の内容は次のとおりであった。

5-1. ウォーミングアップ・意見交換

各グループで模造紙や付箋を活用し、自由な形式で自己紹介を行った後、事前アンケートの結果をもとに「共立リーダーシップ」の認識や課題について意見交換を実施した。

Aグループ

・学部ごとにリーダーシップの捉え方や授業への取り入れ方に違いがある点が指摘された。

Bグループ

・学部・コースごとにリーダーシップへの理解に差があり、統一的な認識が難しいという課題が挙げられた。

Cグループ

・「共立リーダーシップ」について、入学前は認識が薄いものの、入学後に学ぶ機会があることを認識。教養科目ではリーダーシップを学ぶ機会がある一方、専門科目では難しさを感じるとの意見があった。

湯浅且敏先生からは、リーダーシップ教育のばらつきや、リーダーシップの多様性を尊重する重要性についてコメントがあった。また、今回の議論を今後の改善につなげることが期待された。

5-2「共立リーダーシップ」に関する協議

「共立リーダーシップ」の4つの観点についてグループごとに議論し、課題や改善策について意見を出し合った。

Aグループ

・「共立リーダーシップ」育成の仕組みは整っているが、自由度が少なく、より多様な形でリーダーシップを発揮できる場が必要との意見が出た。

グループワーク以外にもリーダーシップを発揮する機会があるとよい。

「リーダー＝リーダーシップを発揮する人」ではなく、多様なリーダーシップの形を理解し、評価する仕組みが必要。

自発的に行動する機会が少ないため、学生がリーダーシップを試しながら成長できる場が求められた。

Bグループ

・課題① リーダーシップへの意識の差：学生によってリーダーシップへの意識が異なり、グループワークでの取り組みに温度差が生じる。「頑張っても単位が取れる」という認識が広がると、リーダーシップの意義が薄れてしまう可能性がある。

・課題② リーダーシップの概念と実践の乖離：学部ごとにリーダーシップの学び方に違いがあり、実践的な機会の少なさが課題となっている。

・課題③ グループワークの機会の少なさ：グループワークが少ない学部では、一度の失敗がその後の授業での消極的な態度につながることもある。関心のあるテーマを設定することで、意欲的に取り組めるのではないかと提案があった。

Cグループ

・専門科目におけるリーダーシップ教育の課題として、学部ごとに求められるリーダーシップの形が異なるため、それを明確にする必要がある。

・国家資格を目指す学部では個人スキルの向上がリーダーシップにつながる一方、国際学や被服学では協調性を重視したリーダーシップが求められる。

・学部ごとのリーダーシップの在り方を、授業の最初に説明する機会があるとよい。

・学外での実践を通じて、自身のリーダーシップを理解し、自信につなげた経験があるとの意見もあった。

6.事後アンケート結果の概要

総回答件数：20件/20人（回答率100%）

アンケート結果：[別紙2「2024年度第2回学生評価委員会 事後アンケート結果」](#)を参照

【設問1】

本委員会での協議を通して、「リーダーシップの共立」の取組みについて関心が高まりましたか。

【設問2】

自身のリーダーシップを高めるために今後意識して取り組みたいことがあれば、教えてください。

【設問3】

本委員会で得た知見をもとに、「学部・科の教育目標（ディプロマポリシーと言います）にリーダーシップを設定し、体系的にリーダーシップを高められるよう科目を整理する取組み」について評価してください。

【設問4】

本委員会で得た知見をもとに、「個別の授業における「共立リーダーシップ」育成の取組み」について評価してください。

【設問5】

本委員会で得た知見をもとに、「正課外（サークル、部活、学生スタッフや委員会、共立Stand Up!プロジェクトなど）の様々な活動における「共立リーダーシップ」育成の取組み」について評価してください。

【設問6】

本委員会で得た知見をもとに、「学生が大学での活動または活動全体を「共立リーダーシップ」の観点で記録し、振り返る取組み」について評価してください。

【設問7】

リーダーシップ教育を推進しその効果を高めるために直近で取り組むべき活動や、より発展的な提案、意見を教えてください。

【設問8】

その他、学生評価委員会の運営に関することでのご意見・ご感想をお聞かせください。

以上

第2回学生評価委員会 事前アンケート結果の共有

高等教育開発センター/リーダーシップ教育センター

学生評価委員のみなさまからのアンケート結果を共有いたします。

1月31日(金)の学生評価委員会の中でアンケート結果をもとに意見交換を行いますので、当日までに各自お目通しください。

1. 事前アンケート期間・対象者

- ①実施期間：2025年1月14日(火)～1月20日(月)
- ②対象者：学生評価委員会委員：20名

2. 提出状況

- ①提出者：20名/20名
- ②回答率：100%
- ③出欠確認：出席/14名 欠席/6名(予定)

3. アンケート結果詳細

「共立リーダーシップ」「リーダーシップの共立について」

【設問1】 本学が掲げる共立リーダーシップとはどのようなものか、知っていることを具体的に教えてください。知らない場合は無記入で大丈夫です。

- ・目標設定・共有、率先垂範、相互支援を大切に、共にリーダーシップを発揮するということ。
 - ・従来のようなひとりがチームを牽引するリーダー像ではなく、皆で協力して課題をこなしていく協働的なリーダー像のこと。
 - ・協働力やコミュニケーション能力。
 - ・引っ張っていくリーダーシップではなく、それぞれが得意としている所を発揮し合い、協力して目標を達成すること。
 - ・権限がなくても誰でも発揮できる。訓練により開発できる。
 - ・従来の引っ張っていくリーダーだけでなく、それぞれの強味を活かしたリーダーシップ
 - ・「女性の自立と自活」に基づき、社会で貢献できるリーダーシップを高める(或いは発見する)カリキュラムが構成されている。チームを引っ張るような人だけがリーダーでなく、様々な立場のリーダーがおり、自分のタイプのリーダーシップを伸ばすことを目的としている。
 - ・それぞれが役割を持って協力していく
 - ・全員が責任感を持った活動
 - ・他の人と協力して目標達成に向けて努力する。その中でその人に合ったリーダーシップ能力を見つけられる。
 - ・グループの誰かが発揮するものというより、メンバー各々がグループの目標に向かって発揮する力のこと
 - ・共立リーダーシップとは、権限がなくても発揮する全員発揮のリーダーシップです。
- この考えを基に、ビジネス学部では1年半必修授業、他学部では教養科目としてリーダーシップ開発の授業が展開されています。「目標設定共有・率先垂範・相互支援」をリーダーシップ発揮における目指す最小3要素として挙げています。これらを実践的な学びを通して、身に付けていきます。また、リーダーシップ開発科目のみではなく、課題解決型ワークショップや課外活動を通して、共立リーダーシップを身に付ける場が数多くあります。
- ・みんなの前に立って1人で仕切るのではなく、みんなで協力しながら物事を進めていくこと。
 - ・権限によらないリーダーシップ、自分らしいリーダーシップの開発。自立。

【設問2】教養科目や専門科目で共立リーダーシップをふまえた授業を履修したことはありますか？授業名とリーダーシップをふまえた内容や活動を教えてください。複数の授業がある場合はそれぞれ個別にお願いします。また、授業名が思い出せない場合は授業でリーダーシップを意識した内容や活動だけでも構いません。

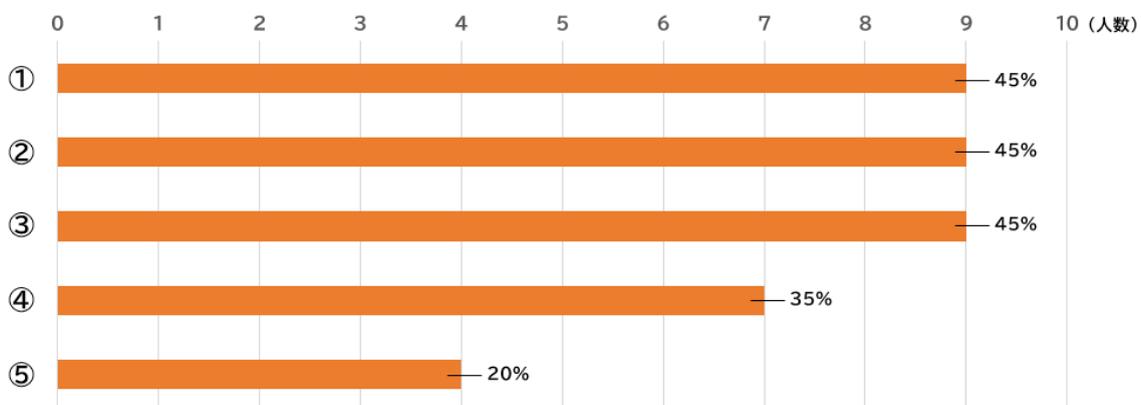
- ・グループでリーダーシップについて学び、発表した。
- ・化学実験。
- ・課題解決ワークショップ：グループワークを通して、石狩市の地域問題の解決案を提案した。
- ・現代社会の諸課題：グループワーク専門科目の実験系の授業：グループごとに実験を行った。
- ・基礎ゼミナール：グループで、神保町について周辺の調査、資料の作成、発表など。
- ・教養総合ワークショップ：グループごとでの看護体験やプレゼンの資料作成、プレゼン、授業後のディスカッションなど。
- ・基礎ゼミナール：共立学園の沿革、現代に必要なリーダーシップ
- ・課題解決ワークショップ：グループワークを通して課題の抽出から解決までを行う
- ・リーダーシップ開発演習：PBLを通してクライアント企業から提示された課題解決
- ・1年次の基礎ゼミナール：共立リーダーシップについてのグループワークがあり、それぞれにどのような強みがあって、どうしたら活かせるか話し合った。
- ・ライフプランと自己実現：PROGのデータで自分を知り、グループワークで実践し、自分の長所を伸ばし、短所と向き合えた講義であった。
- ・現代社会と諸課題：いろいろな学部の人と意見交換やプレゼンを行った。
- ・基礎栄養学実験 班員一人一人の得意不得意を把握しながら実験や発表を行い、レポートを提出した。
- ・グループでのディスカッションやプレゼンテーションを行う活動
- ・現代社会の諸問題（メディア表現）：共立リーダーシップについて確認をした後に、意識しながらチームで話し合い・活動をした。
- ・実習でのグループ活動：実習の最終日にはグループで実習のまとめとして、メンバーと協働し課題に取り組むことが多かった。
- ・リーダーシップ開発入門演習Ⅰ・Ⅱ：知識を身に着けPBL活動
- ・リーダーシップ基礎演習：PBL活動
- ・リーダーシップ開発応用演習：「リーダーシップの探求」を輪読し、経験を踏まえて理論を落とし込んだ。
- ・現代社会の諸課題：他学部の方とグループワークでビジネス提案を行った。
- ・LA活動
- ・基礎ゼミナール：一年生の時に共立について授業を行った。
- ・課題解決ワークショップ:グループ活動を通して商品のノベルティ案を考えた
- ・課題解決ワークショップ:学内点検を通して、リニューアルプロジェクトについて提案した。
- ・課題解決ゼミナール:グループで協力して何かを作り上げる経験などをした。
- ・リーダーシップ開発入門演習Ⅰ：質問会議や論理思考などグループ活動をしながら身につけていった。
- ・リーダーシップ開発入門演習Ⅱ：PBLが行われた。他者と協力しながら自分らしいリーダーシップ開発をして行った。
- ・リーダーシップ開発基礎演習：2回目のPBLが行われた。
- ・リーダーシップ開発応用演習：これまでの実践形式とは違い、輪読形式でリーダーシップを深めていく授業。毎回グループワーク。

【設問3】「共立リーダーシップ」に関する正課外活動（授業外の活動）に参加したことがありますか。学生評価委員会以外で該当するものがあれば列挙してください。

- ・ 学生図書委員会
- ・ 古裂のワークショップ
- ・ 千代田区在住の高齢者居場所づくり（楽々ひろば企画・運営）
- ・ 新宿区糖尿病予防啓発イベント 運営手伝い
- ・ 神保町ワクワク魅力新発見（千代田区プレイスメイキング等実証実験）におけるお外で楽々ひろばの企画・運営補助
- ・ 路上イベントの運営やサークル活動
- ・ スタンドアッププロジェクト
- ・ 国際学部の広報委員会
- ・ オープンキャンパスのスタッフ
- ・ オープンキャンパス実行委員会
- ・ 学祭実行委員会
- ・ オープンキャンパス「私たちのリーダーシップ成長期」「リーダーシップカフェ」「高大連携」
- ・ 共立のオープンキャンパススタッフやその他ボランティア

【設問4】本学ではリーダーシップ教育を進めていく上で様々な取組みを進めておりますが、現状で効果が高い（有効に機能している）と考える取組みを全てお選びください。

リーダーシップ教育を進めていく上で効果が高いと考える取組み



- ①…全ての学部・科の教育目標にリーダーシップが設定され、科目がリーダーシップを高めるために整理されていること
- ②…授業において「共立リーダーシップ」育成のための活動を充実していること
- ③…正課外の様々な活動において「共立リーダーシップ」育成のための機会を増やしていること
- ④…学生が大学での活動全体を「共立リーダーシップ」の開発・育成の観点から振り返る機会を充実させていること
- ⑤…「共立リーダーシップ」の取組を学内外の関係者（高校生、本学の学生、保護者や企業）や社会全般に積極的に発信していること

第2回学生評価委員会 事後アンケート結果

高等教育開発センター/リーダーシップ教育センター

1. 事後アンケート期間・対象者

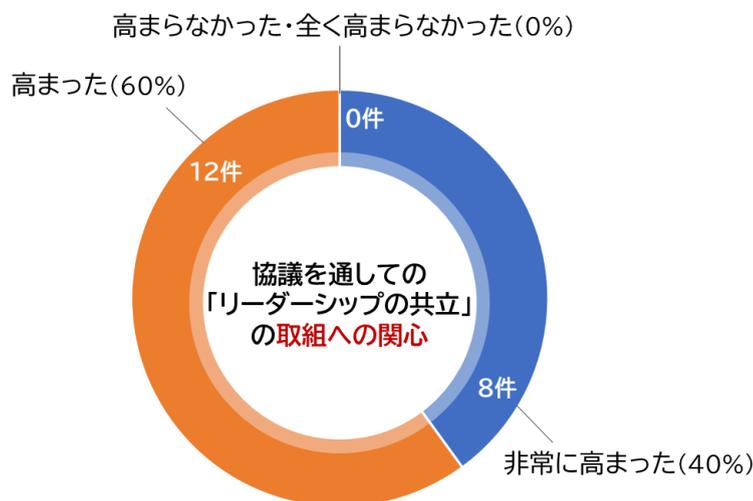
- ①実施期間：2025年2月1日(土)～2月10日(月)
- ②対象者：学生評価委員会委員：20名

2. 提出状況

- ①提出者：20名/20名
- ②回答率：100%

3. アンケート結果詳細

【設問1】本委員会での協議を通して、「リーダーシップの共立」の取組みについて関心が高まりましたか。



【設問2】自身のリーダーシップを高めるために、今後意識して取り組みたいことがあれば、教えてください。

- ・これまでに2つほど、リーダーシップが強く意識された授業を受講したことがありますが、今回の話し合いを通してリーダーシップへの意識がより高まったので、次回以降はもう少し具体的に。自分ならではのリーダーシップとはいったい何なのか、を考えながら受講したいと思います。
- ・リーダーシップを学内・学外に広めていく
- ・学部で求められている、また卒業までに身につけるリーダーシップを意識して授業を受け、実習に参加する。
- ・課外活動に積極的に参加すること
- ・自分の強みや弱みを理解し、どういう状況で自分が最も力を発揮できるかを知ること。そのために、今まで挑戦することを避けていたことに対しても積極的に挑むようにしたい。
- ・もっと様々な活動に参加してみたいと思う。
- ・自分の現状を伝え、相手に支援を求めること
- ・来年度は卒業制作のみ履修予定のため、ゼミでの活動の際に積極的にメンバーに話しかけていきたいです。
- ・実験に主体的に参加し、自主性を高める。

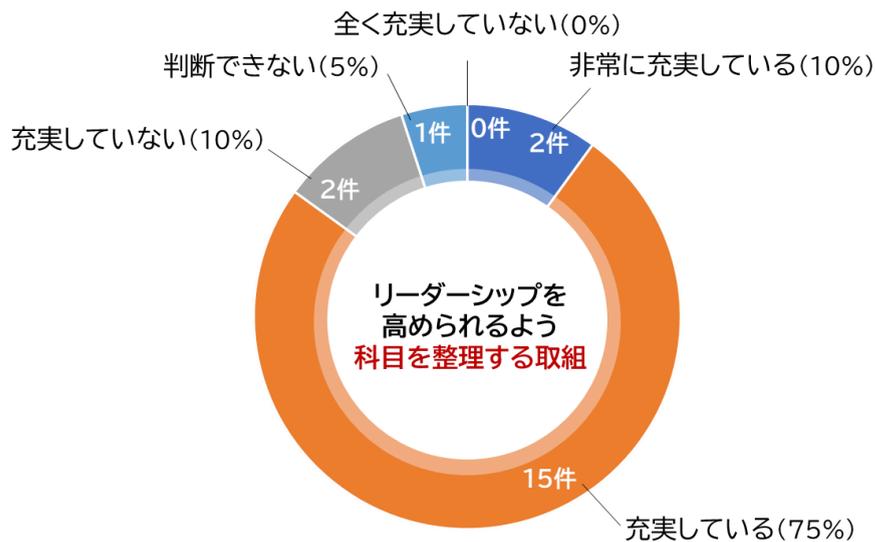
実験後の発表やグループで活動する際に個人の役割を全うしたり、自ら考えて主体的に取り組んだりしたい。

・実習が再開した際には、グループでの活動が主となるので、グループでの活動や成果物がより良いものとなるように、自分に求められているものは何かを考え、貢献できるように行動していきたいと思います。

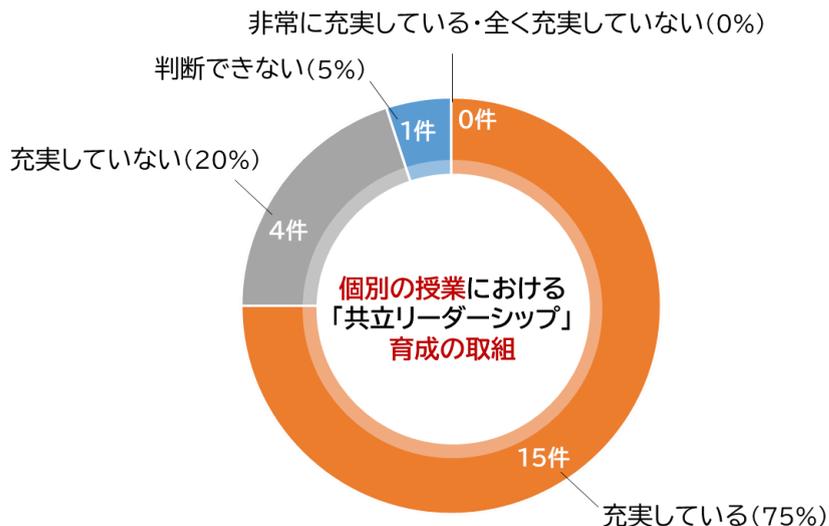
・来年度の授業履修選択の際に、座学だけでなく、話し合いやチームワークの機会がありそうな授業を選んで、リーダーシップを発揮する練習をしたいという気持ちになった。

・グループワークに参加できていない人も巻き込んでいくにはどうするべきかまで気を回せるように取り組んでいきたい。

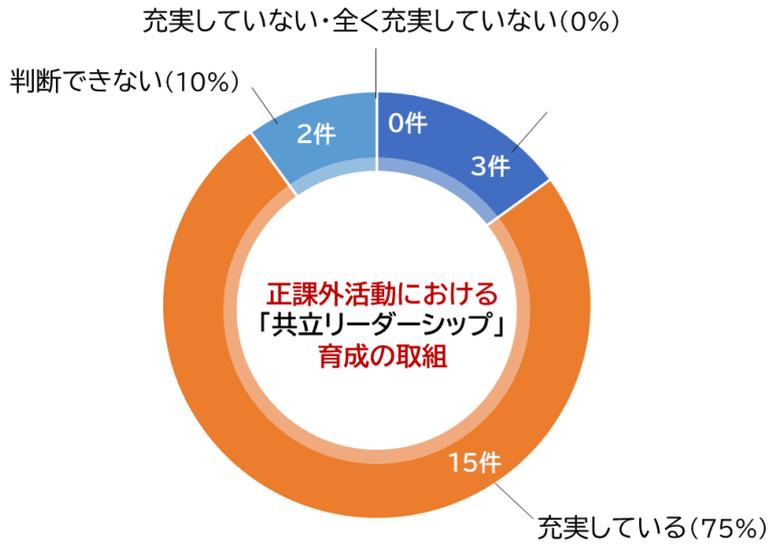
【設問3】本委員会で得た知見をもとに、「学部・科の教育目標（ディプロマポリシーと言います）にリーダーシップを設定し、体系的にリーダーシップを高められるよう科目を整理する取組み」について評価してください。



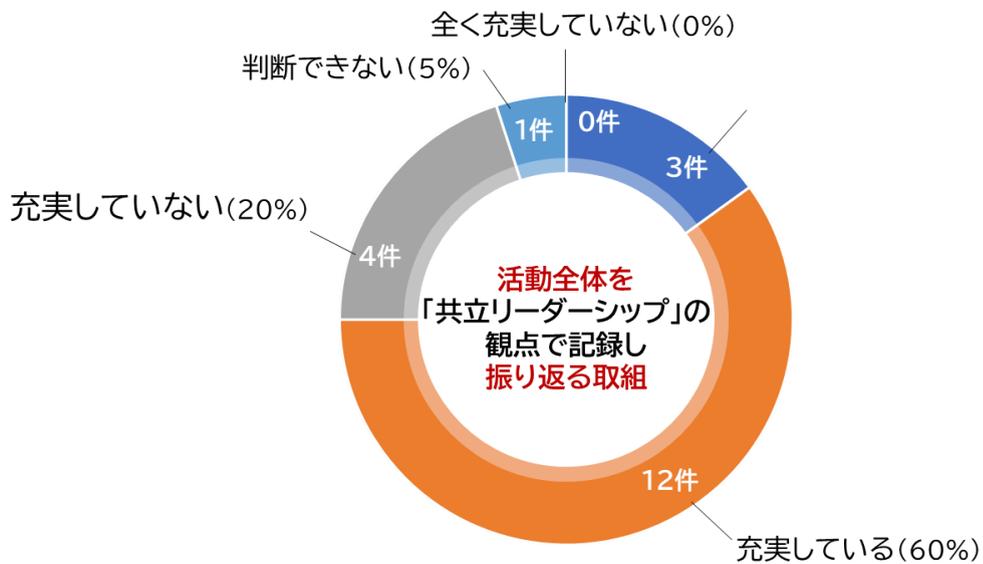
【設問4】本委員会で得た知見をもとに、「個別の授業における「共立リーダーシップ」育成の取組み」について評価してください。



【設問5】本委員会で得た知見をもとに、「正課外（サークル、部活、学生スタッフや委員会、共立Stand Up!プロジェクトなど）の様々な活動における「共立リーダーシップ」育成の取組み」について評価してください。



【設問6】本委員会で得た知見をもとに、「学生が大学での活動または活動全体を「共立リーダーシップ」の観点で記録し、振り返る取組み」について評価してください。



【設問7】リーダーシップ教育を推進しその効果を高めるために直近で取り組むべき活動や、より発展的な提案、意見を教えてください。

- ・今回の委員会でも出た意見ですが、学部によるリーダーシップ教育の差や、学部ごとのリーダーシップの具体的な活用方法の説明があればより良いのではないかと感じました。
- ・授業でのリーダーシップのレクチャー。
- ・全体として、リーダーシップ教育に力を入れてくださっているが、教養科目に比べると各学部での取り組みは効果を実感しにくいいため、内容や方法をより充実させて欲しい。また、千代田区キャンパスコンソ等で共立リーダーシップの発信を行い、他大学の学生も一緒に学べる機会があれば、独自性を深めたり、外部の認識も深まり易いと思う。
- ・マイステップや前後期の振り返りだけでなく、自分のリーダーシップに関する成長を一目で分かるものがあればモチベーション向上につながると思う。
- ・学部を超えて何かするような授業、企画が増えると、より刺激がもらえ、同じ大学に通う、多様な学問分野の学生がいると実感でき、視野が広がる。そこで、同じ学部内ではない環境でどんな自分が役割を持ってどのようにして共同作業を行えばいいか考える時間が生まれ、リーダーシップの発展に繋がると感じた。
- ・この委員会のような学校をより良くするための活動を今よりも多くの学生で行うこと。みんなが主体的に考える必要があることに気づいてもらう活動。
- ・教員やいくつかの業界のリーダーをメンターとして招き、学生がリーダーシップを実践的に学べるようサポートするプログラムを導入したらどうだろうか。学生側からすると、彼女らをロールモデルとすることで、自身のリーダーシップ向上に繋がると考える。
- ・学部によって座学的に学ぶことや実践的に学ぶことのどちらかに偏っていると感じ、どちらも学べるようにするとより効果が高まると考えます。
- ・授業の中で知識と実践、両方経験できるようにすること。
- ・既存の授業にリーダーシップ教育を盛り込むことは大変困難な面もあると今回の委員会で感じたため、新たな枠でのリーダーシップ教育を行うことを目指す。
- ・初回の授業でディプロマポリシーなどを説明することになっていますが、義務として話すということだけを意識している先生が多いように感じます。そのため、初回の授業では、具体的にこの授業で、「どのように共立リーダーシップを発揮することができるか」や、「どのような共立リーダーシップが期待されるか」などを詳しく解説することがより効果的だと感じました。
- ・授業内でただ聞くだけの授業はなく、グループワークをより多く含むものを増やす。
- ・授業内で取り入れていく。
- ・必修科目にグループワークの授業を取り入れる。
- ・リーダーシップを活かせる頻度が学部・学科によりバラツキがあると感じたため、座学授業が多い学部・学科は工夫する必要がある。
- ・管理栄養士専攻はグループワークが多く、個人の考えを述べる機会が少ないため、個人の考えやアイデアが求められる授業があるといいと思う。また私の学科によらず、各学部の特徴とされるリーダーシップとは違う質のものに触れる授業があるといいと思います。
- ・自身のリーダーシップを考える・発揮しようとする前に、自律する姿勢が必要かと思うので、自分で計画から実施、他者への共有といったような取り組みが必修となればいいのではないかと思います。
- ・14回全ての講義が終わった後に、授業評価アンケートと共に、授業内でのリーダーシップ教育の自己評価アンケートの場を設けると、自分で振り返って次に活かすことができそうだと考えた。
- ・座学の授業で、グループワークをする機会を増やすと良いと思った。（話し合いを設けたとしても、結局グループに参加できずに孤立する場合があるため、その時は先生方の協力が欲しいと感じる。）
- ・正課外の活動でも、共立のリーダーシップ教育がどんなもので、卒業後にどう発揮できるかななどの簡単な説明会みたいな活動があったらよいと思う。
- ・学部によって必要なリーダーシップが異なると話していてわかりました。文芸であれば、領域を跨ぐような大きなテーマに取り組む研究会（現存の千代田学とか）を大々的にできれば、リーダーシップを取る機会が増えると思いました。
- ・学校全体でリーダーシップを推すのであれば、リーダーシップを発揮する機会が少ない学部もグ

ループワークを作ったり、概念だけでなく具体的に実践するための力(傾聴力の向上等)まで学べたりすると良いと感じる。

・授業内でのグループワーク機会を増やすこと、また、それぞれの意識向上のため、結果だけでなく過程を評価する仕組みの体現。

【設問8】 その他、学生評価委員会の運営に関することでのご意見・ご感想をお聞かせください。

・夏季に行われた学生評価委員会が出た意見（2号館のオープンスペースの利用のハードルを下げて欲しいという意見）が、実現されたことをGmailを通して知ったのですが、委員会での話し合いを通して、学生の意見が実現されたと知り、とても嬉しかったです。

・前期も今回も学部を越えて、身近にある様々な問題を考える時間は大学をより良くする目的だけでなく、自らを振り返ったり、自分に出来ることを考える大変良い機会となりました。一年間活動させていただき、ありがとうございました。

・就職活動の関係で参加することができず申し訳ありませんでした。これからも自身のリーダーシップ向上を目標に積極的に活動していきたいです。

・時間が短く、グループワークでの話し合いやまとめる時間がもう少しもらえるともっと様々なアイデアや意見がでると感じた。

・非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

・初対面の他学部の方とグループワークをするということは、積極的にコミュニケーションをとることが苦手だった私にとって、とても貴重な経験になったと感じています。

・各学部の代表者と同じ議題でいろいろな視点から話し合うことは新たな刺激となりとても興味深かったです。

・他学部の子達と予想以上に活発的に話し合いをすることができ、またその子達の様子をみて見習いたいと思う瞬間が沢山あって、充実した時間を過ごすことができ嬉しかった。そして、入学してから、学生に対してのサポートがとても充実していると感じていたが、その裏側の一部を見ることができたことも嬉しかった。